



六甲

発行所
第3後方支援連隊
第1科広報班

〒664-0014
兵庫県伊丹市広畑1-1
電話 072-781-0021
内線 8-71-3403

記事内容

一面 連隊長年頭の挨拶・連隊OB会長年頭の挨拶
二面 各部隊長年頭の挨拶
三面 第1次連隊訓練検閲【衛生隊】、年末行事
四 平成二十六年連隊訓練始め、
面 整備・衛生コンテスト

五面 連隊銃剣道競技会、炊事コンテスト
六面 連隊成人式、成績等優秀隊員紹介
七面 人事往來(定期昇任、表彰等)
八面 定年退官者紹介・4コマ漫画等

「六甲」新聞マークデザイン 神谷1士

迎春



連隊長



一等陸佐
河野 玄治

平成二十六年年頭にあたり

隊員家族の皆様、連隊OBの諸先輩の皆様には、謹んで新年のお慶びを申し上げます。
さて、昨年来の北東アジアでの緊張の高まりの中、平成二十六年を迎えました。南西諸島方面や朝鮮半島の情勢は、ひと時も目を離せず、我々も万一の事態に備え不断の警戒を続けていくところであります。
昨年末、新たに国家安全保障戦略が策定され、新防衛計画の大綱・新中期防の決定がなされました。本年から防衛省自衛隊も新体制に向け、大きく変化を迎えることとなります。
現在までの話では、我第三師団の任務は変わることなく、引き続き近畿二府四県の防衛警備を担当する事となります。しかしながら大規模震災



連隊長統率方針 連隊長要望事項

命と炎 生せばなる
前へ

を含め脅威は多様化し、あらゆる事態に備えた不断の練磨を続ける必要性は高まることはあれ、不要になることはありえません。我々師団唯一の後方支援部隊は、日々練磨し万一の事態の際には、師団を全力で支えることができるごとく、実力を蓄えることが何より肝要と心得ております。
よって本年も我連隊は、国家国民のためまた国際的な平和な環境醸成のため、日々努力していく所存でございます。どうか宜しくご支援ご声援を賜りますよう、隊員一同に成り代わりお願い申し上げます。
最後になりますが、我連隊を常日頃ご支援くださる皆様の今年1年のご多幸を祈念致しまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

連隊OB会



会長
川端 利昭

年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。
隊員の皆様、OB会員の皆様には平成26年の新春をお健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。
昨年は我が国を取り巻く安全保障環境が現実に厳しさを増し身震いする思いもりましたが、安倍政権は参議院選でのねじれ解消を経て、国家安全保障会議の設置、防衛大綱・中期防の改定等矢継ぎ早に決定し、引き続き日米ガイドラインの見直しも進むものと思われまます。このような変化の予測される中、連隊の皆様には厳しい訓練に裏打ちされた実力を高度に維持し、いついかなる要求にも応え得る即応性を期待されます。
OB会員は連隊を誇りに思い、更なる発展を願い、当面は南スーダンに派遣された隊員の任務の完遂と無事帰国を願いつつ新年のご挨拶いたします。

本部付隊長



1等陸尉
鍋山 憲一

新年明けましておめでとうございます。希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。昨年は、生き残り得る強靱な部隊を目標に部隊の基本的行動を着実に練成するとともに、戦闘要領を学ぶ等、充実した一年でした。今年は師団訓練検閲受閲の年であり、馬の如く飛躍し全てがウマくいくよう、本部付隊全隊員が一致団結し任務に邁進する所存です。本年が皆様にとって幸多き年になることを祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

第1整備大隊長



2等陸佐
植松 佳郎

皆様、新年明けましておめでとうございます。昨年は、巳年ということでもじつくりと地に足をつけて(蛇に足はありませんが。)私と大隊の実力をつける年として、教育訓練、支援業務に邁進してまいりました。今年は、午年で検閲を受閲する年ですので、さらに練成を積み重ねて「ばんえい競馬」の馬のごとく力づくよく実力を発揮する所存です。本年も皆様にとりまして素晴らしい一年になりますよう心よりお祈り申し上げます。

第2整備大隊長



2等陸佐
山下 次郎

新年明けましておめでとうございます。昨年三月着任以来、十数年ぶりの部隊勤務に戸惑いを覚えつつ慌しく過ごして参りました。本年は、南スーダンへの隊員派遣を継続しつつ、連隊の師団検閲受閲等多忙を極める年になると思いますが、我々の実力が試される年と位置付け、しっかりと腰を据え部隊の練成、支援業務に邁進していきたく思います。本年も二整大を宜しくお願い致します。

補給隊長



2等陸佐
池田 裕孝

新年明けましておめでとうございます。本年も皆様にとりまして、素晴らしい年になりますよう、祈念申し上げます。今年は、午年ということ、如何なる厳しい任務に直面したとしても、補給隊全隊員一致団結し、一つ一つうまく乗り越えて最後まで駆け抜けていきたいと思っています。昨年同様、皆様の温かい御支援・御指導のほど宜しくお願い申し上げます。

輸送隊長



2等陸佐
橋本 博己

新年あけましておめでとうございます。早いもので輸送隊長に着任して1年と9ヶ月が経過しました。昨年は、師団唯一の輸送専門部隊として、いかなる困難な状況においても任務を完遂できる日本一の輸送隊を目指し、操縦技能をはじめ輸送技術の向上等に努めて参りました。今年はいよいよその成果を訓練検閲の場で発揮する年です。輸送隊一丸となつて頑張つて参りますので、本年もよろしくお願いいたします。

衛生隊長



3等陸佐
川井 雅文

新年明けましておめでとうございます。昨年は連隊長による訓練検閲、南スーダンへの派遣等多種多様な事業があり、その一つ一つを乗り越えることができました。今年の衛生隊も、全ての事業について、常に「もうひとふんばり」の精神で一致団結して一つ一つ努力し、昨年の衛生隊を上回る勢いで前進していく所存です。関係各位におかれましては、昨年同様、ご支援、ご助言いただけるようお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

第1次連隊訓練検閲【衛生隊】

骨肉の至情 挺身奉仕



衛生科精神を念頭に任務完遂

連隊は、平成25年12月2日から5日までの間、青野ヶ原演習場において、衛生隊(隊長 川井3佐)に対し、第1次連隊訓練検閲を実施した。

初冬を迎え、濃霧に包まれた青野ヶ原演習場で開始した本訓練検閲は、師団の陣地攻撃における衛生隊の行動を、検閲課題とし、「有機的な指揮幕僚活動」、「部隊の基本的行動及び隊員の基礎動作」を主要検閲項目とした。編成完結において、統裁官は「頭を使って最善を尽くせ」、



「基本基礎の確行」、「安全管理・健康管理」の3点を要望事項として挙げた。隊容検査では、各隊員が補助官からの質問に対し適切に答えるなど、本訓練検閲へのやる気のある姿が伺えた。

状況下においては、大量患者発生や傷病者への手当てりの患者空輸など、多様な状況に対応した。更に、検閲終了後に実施した徒步行進訓練では、一人の脱落者も出ることなく、本訓練検閲を無事終了した。



訓練検閲優秀隊員



治療隊
3曹 黒原翔馬
衛生救護陸曹としての功績



治療隊
3曹 森 薫彦
衛生救護陸曹としての功績



救急車小隊
士長 中川 遙
操縦手としての功績



本行事は、多数の来賓及び隊員家族を招き交流を図るとともに、餅つき大会等を実施して連隊の駐屯地所在全隊員の団結の強化と士気の高揚を図った。行事は当初、OB会長をはじめ日頃お世話になっている来賓の方々とともに「つき始め」を実施し、じ後は各部隊ごとにぎやかに餅つきを行った。途中、駐屯地司令の激励を受ける際、らっぱ吹奏と騎馬を組んで司令を乗せて入場を迎えるなど、楽しく新年への活力を養うとともに、にぎやかに年の瀬のひとつきを過ごした。

一年の締めくくりを餅つきで!

連隊は平成25年12月21日(土)、千僧駐屯地において実施された駐屯地年末行事に参加した。

平成二十五年年末行事

平成二十六年連隊訓練始め

さらに日本一の連隊を目指して

連隊は、平成26年1月9日(木)に、千僧駐屯地南側地域において、連隊訓練始めを実施した。



今年さらに日本一の連隊を目指すことを隊員に語られる連隊長

連隊の千僧所在部隊で実施した訓練始めは、年男・年女隊員がそれぞれ抱負を述べ、幕を開けた。連隊長の年頭の辞に引き続き、全隊員で南スーダン共和国の方角を向き、第5次南スーダン派遣施設隊で任務遂行中の隊員に対して黙祷し、安全を祈願した。

その後実施した20人大縄跳びは、3分間で連続して跳んだ回数が多い2チームが決勝へと進む方式で、全14チームの中から予選を見事勝ち抜いた第1整備大隊Dチーム(29回)と連隊本部・本部付隊Bチーム(17回)が決勝戦を行った。予選トップの1整大Dチームは予選の頑張りが響いたのか、予選2位通過の連隊本部・本部付隊Bチームが18回で優勝を飾り、訓練始めは終了した。



第1整備大隊Dチーム



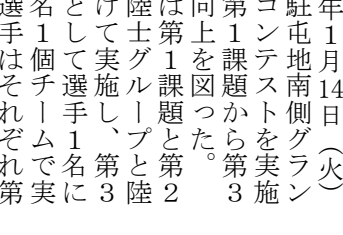
連隊本部・本部付隊チーム



衛生コンテスト

連隊は平成26年1月14日(火)午後から、千僧駐屯地南側グラウンドにおいて衛生コンテストを実施し、救急法検定第1課題から第3課題までの練度向上を図った。

同コンテストは第1課題と第2課題を個人戦で陸士グループと陸曹グループに分けて実施し、第3課題はチーム戦として選手1名に担架員3名の4名1個チームで実施した。各参加選手はそれぞれ第1課題の自己が被弾した際の緊急停止血動作、第2課題の人工呼吸、そして第3課題の傷病者発生時の救急処置要領について、練成の成果を遺憾なく発揮した。



整備コンテスト

連隊は平成26年1月14日(火)午前中、千僧駐屯地南側グラウンド及び1整大整備実習場前で整備コンテストを実施し、車両整備及び小火器整備技術の練度向上を図った。

当初実施した車両整備の部では、小型トラックのタイヤ交換を2名1組で左前輪タイヤとスペアタイヤの交換を実施した。引き続き実施した小火器整備の部では、89式小銃の分解・結合を実施し、それぞれ正確性及び速度を競いあうとともに、兵站部隊としての自覚と物品愛護意識を高揚させることが出来た。



小型トラックのタイヤ交換の部

- 第1位
2整大特直支隊
士長 竹内 翔
2曹 沖田 恵均
タイム 5分16秒
- 第2位
補給隊
士長 増田 孝行
3曹 瀧本 典子
タイム 5分42秒

89式小銃分解・結合の部

- 第1位
2整大特直支隊
士長 住上 凌
タイム 3分23秒
- 第2位
補給隊
士長 矢野 瑛依子
タイム 3分24秒
- 第3位
2整大1直支中隊
士長 老平 愛梨
タイム 3分25秒

- 第1課題 (陸曹)
第1位 2整大本付 岡本 祥史
第2位 1整大火車中隊 3曹 吉野 純弥
- 第2課題 (陸士)
第1位 2整大戦車直支隊 1士 伊藤 洋介
第2位 衛生隊 士長 中村 豪
- 第2課題 (陸曹)
第1位 2整大本付 岡本 祥史
第2位 衛生隊 2曹 今泉 大輔
- 第2課題 (陸士)
第1位 2整大特科直支隊 士長 住上 凌
第2位 補給隊 1士 金子 暁真
- 第3課題 (部隊)
第1位 衛生隊
第2位 2整大本部 偵察直支隊

連隊銃剣道競技会



鋭い突きで一本!

連隊は、平成26年1月24日(金)に、千僧駐屯地体育館において、連隊銃剣道競技会を実施した。

本競技会は、1チーム5人の団体戦並びに陸曹の部、入隊2年以上の部、陸士2年未満の部及び女性自衛官の部の個人戦を実施した。

開会式では、統裁官より「勝ちにこだわられ」、「勝ち方にこだわられ」、「安全管理にこだわられ」の三点が要望された。

各道場で熱戦が繰り広げられ、鋭い突きで一本が入ると歓声がわき、体育館は熱気に包まれた。

団体戦決勝においては、第1整備大隊Aチームが昨年優勝の第2整備大隊偵察直接支援隊チームを破り優勝した。

個人戦においては、世代交代を感じさせる若手の台頭が目立つ等、若年隊員の練成成果が遺憾なく発揮され、競技を盛り上げた。



気合いの一突き



勝負は紙一重!



観戦されるOB会役員の方々

また、連隊OB会会長をはじめとする役員会の方々が来隊され、連隊隊員の勇姿を観戦して頂いた。

【御礼】
方面通信群、36普通連、3高大、3通大の皆様の審判支援により盛会のうちに無事終了となりました。

個人戦優勝隊員

入隊2年以上の部



2 整大3直支中隊
士長 鎗尾 大貴

陸曹の部



1 整大施設整備隊
2 曹 安藤 啓

女性自衛官の部



2 整大高射直支隊
士長 寺町 舞

陸士2年未満の部



衛生隊
士長 石崎 太二

団体の部



優勝
第1整備大隊Aチーム

松本3曹 土本3尉 三谷士長
土井1曹 河南3曹

第2位
第2整備大隊偵察直支
第3位
衛生隊

炊事コンテスト

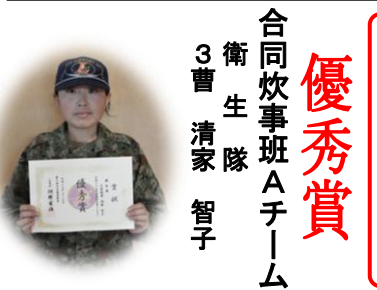


連隊は、平成26年1月24日(金)、一盛大整備工場前で炊事コンテストを実施した。

各部隊から選抜された選手は、肉じゃが、豚汁、各部隊オリジナルのデザートや創意工夫料理など様々な工夫を凝らし調理した。当初班長による命令下達から始まり、各班員は、具材の切り込みや、炒め物など、それぞれの与えられた任務を整齊とこなし、料理を作り上げた。



技能賞
合同炊事班Bチーム
補給隊
士長 南 水緒



個人表彰
優秀賞
合同炊事班Aチーム
衛生隊
3曹 清家 智子

平成二十六年連隊成人式

連隊新成人男女7名 戦車回収車に挑む!

連隊は平成26年1月14日(火)、千僧駐屯地において連隊成人行事を実施し、新成人者の門出を祝うとともに、思い出に残る催しとして戦車回収車の綱引きを行った。



新成人の思い出に男女7人で戦車回収車との綱引きに挑戦

当初は新成人のみで引つ張るが、微動だにしない。

最後は総勢約50名で引つぱりようやく戦車回収車は動き出した。



当日は連隊の新成人者18名の内、教育入校者等の不在者を除く男女7名の新成人者が行事に出席し、当初各人ごとに新成人としての抱負や決意を発表した。次に、新成人者の7名は連隊全隊員が見守る中、戦車回収車との綱引きに挑戦した。各部隊の隊員の声援を背に7名は、懸命に力を合せて綱を引くが戦車回収車は全く微動だにしない。見かねた応援者からまずは前年度の成人者が手助けに加わるも動かず、次に来年の成人予定者が、ついには連隊長をはじめ副連隊長、各隊長、連隊最優先上級曹長、各部隊先任上級曹長等総勢50名を越す人員が次々と加勢し、ついに重さ約38トンの戦車回収車が履帯の軋み音を出して動き出すと、取り囲んだ応援者から大いに歓声が沸き起こった。終了後に河野連隊長から新成人者に対し「協力して成し得る人間の底力を忘れず、これからも信念と野心を持って前向きに生きる青年として逞しく大人の階段を登り続けて欲しい。(要旨)」との訓示があり同行事は大きな盛り上がりの中、終了した。

成績等優秀者紹介

1 整大 火車
3 尉 永田 貴彦



優秀隊員のコメント
「メリハリをつけ、9ヶ月間、集中力を持続することができたことが良かったです。」

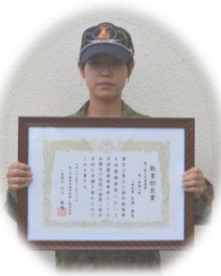
2 整大 1直支
士長 澤見 やよい



平成25年12月1日に京都府福知山市で実施された京都銃剣道選手権大会において 優勝
個人女子の部

優勝隊員のコメント
「団体戦2試合(相手は男性)も含め、無敗(個人戦は5試合)で優勝できて良かったです。」

1 整大 火車
3 曹 長濱 優香



優秀隊員のコメント
「部隊でのOJTと武器学校での予習・復習の成果が実りました。同期にも恵まれました。」

2 整大 1直支
士長 老平 愛梨



平成25年12月1日に東京都明治神宮で実施された第41回全自衛隊弓道大会において 優勝
女子個人戦

優勝隊員のコメント
「学生の頃から継続してきたことで賞がいただけ、本当に嬉しく思います。今後も自分を信じ、任務に邁進していきます。」

2 整大 2直支
曹 候 村津 一平



優秀隊員のコメント
「失敗を恐れず、自分のやるべき事を全力で頑張ったことが受賞に繋がったと思います。」

#124期陸曹候補生課程において第4陸曹教育隊共通教育中隊長より表彰されました。

定年退官者

本部付隊
准陸尉 溝口 義人



1月3日付

永年の勤務 お疲れ様でした



褒賞プレゼントなどクイズ

Q1 ある数に蓋をかぶせると4分の3になります。その数は？

Q2 十二支の未と申がケンカしたら、どちらが強い？

※ 今回は2問！

2問とも正解した人の中から抽選で豪華？商品が当たる。

先号のプレゼントクイズの答えと褒賞プレゼント当選者発表
答え **【英和辞典の中】** アルファベットにすると秋から始まる

褒賞プレゼント当選者

本部付隊 3曹 黒澤 大悟

応募方法

3後支1科広報班にメモ用紙に名前と答えを書いて提出、もしくはハガキで応募、問い合わせは内線817113403です。
次回×切は4月15日まで、当選者発表は「六甲」54号(5月下旬)にて

戦術能力優秀隊員紹介

毎月、月末点検時に実施している各部隊選抜された陸士隊員を対象とした各種項目の優秀者です。

11月 実施項目 00式個人用防護装備の装着

補 給 隊 和田1士 ※(記録 4分35秒)

1月 実施項目 目隠しでの小銃の分解・結合

第1整備大隊 尾崎1士 総合1位

本部付隊 (記録 分解1分12秒 結合2分19秒)
神谷1士 分解1位(記録 1分9秒)

※ 階級については実施月当時の階級

「早食い！」 作：衛生隊 中川士長



※「飯はよく噛んで食べましょう！」

連隊OB会入会案内

転出、任期満了退職及び定年退官される皆様へのご案内です。連隊OB会では、第三後方支援連隊OB会会員相互の親睦及び連携を深めるとともに、第三後方支援連隊の活動及び行事等を後援して、その発展に寄与することを目的として活動する会です。

OB会発展のため、入会をお願いします。入会される方は、各部隊人事担当者まで。

連隊ホームページのご案内

連隊は、ホームページを開設しています。携帯電話、スマートフォン、ご自宅のパソコン等から第三後方支援連隊のホームページにアクセスし、ご覧になれます。

「第三後方支援連隊」を検索↓「第三後方支援連隊HOMEPAGE」をクリック!

アドレス

www.mod.go.jp/gsdf/mae/3d/3log/index.html



編集部から

読者の皆さん、日々進化し続ける広報誌「六甲」をご愛読下さいますと誠にありがとうございます。改めまして、読者の皆様、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

この度は、新たに本部付隊の神谷1士が編集部に加え、早速「六甲」新聞マークのデザインを担当しました。4コマ漫画担当の中川士長は、南スーダン派遣施設隊の無事の帰国を願うカエル(無事帰る)のキャラクターをデザインしました。

なぞなぞクイズは多数のご応募ありがとうございました。53号の答えも随時受付中。編集部要員につきましてはまだまだ募集ですので、ご協力お願いします。

広報幹部 坂口2尉 広報陸曹 上之園2曹 編集長(広報陸曹) 久松2曹



編集部要員 第2整備大隊 松永曹長



編集部要員 衛生隊 中川士長



編集部要員 本部付隊 神谷1士



南スーダン派遣施設隊壮行行事

威風堂々とした姿に感涙

連隊は、平成25年11月20日(水)に、千僧駐屯地

において、南スーダン派遣施設隊(第5次要員)として連隊から派遣する隊員に対し、壮行行事を実施

し、連隊の壮行行事に引き続き実施した本行事は、連隊隊員、連隊OB会役員の方々及び派遣隊員ご家族の見守る中、連隊派遣隊員の長、中川1尉(第1整備大隊施設整備隊長)以下派遣隊員に対して、連隊長及び連隊OB会長から激励の言葉を頂いた。

中川1尉が派遣隊員を代表して、南スーダン派遣に対する決意を述べた後、派遣隊員に対し、残留隊員代表のカエル2人(2匹)から「無事かえる(帰る)」事を祈願してエールが送られた。

第3師団の隊員を基幹に編成された「南スーダン派遣施設隊(第5次要員)」は、南スーダン共和国の国作り支援のため、約半年間道路路補修等施設活動の任務にあたる。



派遣要員出国見送り



派遣隊員コメント

衛生隊 奥村2尉

派遣先でも、自分のことだけでなく、周囲に気配りでき、元気を与えられるような看護官を目指して頑張ります。

